

令和6年度多施設合同研修

研修名	令和6年度多施設合同研修	
開催日時	令和6年4月12日～8月6日 7研修16日間	時間：下記プログラム参照
受講者数	魅力ある看護専門職:80名 医療安全の基礎知識:78名 感染管理の基礎知識:86名 注射・輸液:94名 フィジカルアセスメント:112名 救急対応:117名 社会人基礎力向上:91名:(最終日42名 49名をカウント) 総数658名 (会員24名 非会員110名)	定員：下記プログラム参照
対象	免許取得後初めて就労する保健師、助産師、看護師、准看護師	
ねらい	新人看護師が基礎的知識・技術・態度を習得できる。 他施設の新人看護師職員との交流、意見交換ができる	
講師	プログラム参照	
内容	プログラム参照	講義・演習

全プログラム・科目別定員数

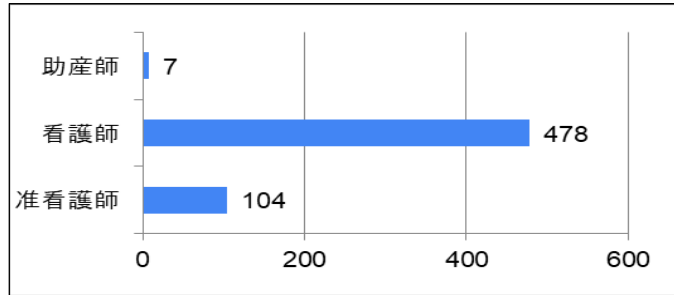
研修番号	研修名	日程	時間	内容	講師	定員
A1-①	魅力ある看護専門職に成長するために	4月12日(金) 9:00～12:30	3時間	1. 看護の動向 2. 専門職業人としての第1歩 3. 看護協会の役割について	藤原 房子 高知県看護協会会長	80名
A1-②	医療安全の基礎知識	4月12日(金) 13:30～16:30	3時間	1. 医療安全の基礎知識 2. 組織で取り組む医療安全 3. 医療安全のためのKYT(GW)	伊勢田 純子 高知赤十字病院 看護副部長	80名
A1-③ A1-④	感染管理の基礎知識	4月25日(木) (1回目) 4月26日(金) (2回目) 9:30～16:30	6時間	1. 標準予防策と感染経路別予防策 2. 手指衛生と个人防护具について 3. 職業感染防止	森田安世 白菊園病院 感染管理認定看護師 アシスタント1名/日	各50名
A1-⑤ A1-⑥ A1-⑦	注射・輸液	5月21日(火) (1回目) 5月22日(水) (2回目) 5月23日(木) (3回目) 9:00～17:00	7時間	1. 点滴静脈注射実施手順 2. 輸液ポンプ・シリンジポンプの適正使用と注意事項 3. 点滴静脈注射の実施	三谷卓史 テル株式会社中四国 ブロック 高知県担当 指導者8名/日	各32名
A1-⑧ A1-⑨ A1-⑩	フィジカルアセスメント	6月18日(火) (1回目) 6月19日(水) (2回目) 6月20日(木) (3回目) 9:30～16:30	6時間	1. フィジカルアセスメントとは 2. バイタルサインの意味 3. 呼吸・循環のフィジカルアセスメントに必要な知識 4. フィジカルアセスメントの基本技術(問診、視診、触診、打診、聴診)	池島真由美 近森病院 急性・重症患者看護 専門看護師 アシスタント2名/日	各36名
A1-⑪ A1-⑫ A1-⑬	救急対応	7月10日(水) (1回目) 7月11日(木) (2回目) 7月12日(金) (3回目) 9:30～16:30	6時間	1. 急変の前兆とその対応 2. 心肺蘇生法(一次救命処置) ・BVM(バックバルブマスク) ・胸骨圧迫心マッサージ ・AED 3. 心肺蘇生法(二次救命処置) ・気管挿管の準備・介助 ・心停止の心電図波形 ・心肺蘇生時に使用する薬剤について	寺尾浩 高知赤十字病院 救急看護認定看護師 インストラクター8名/日	各40名
A1-⑭ A1-⑮	社会人基礎力の向上	Aグループ 7月16日(火) 7月30日(火) Bグループ 7月25日(木) 8月6日(火) 9:30～12:30	3時間 3時間	相手の心に伝わる話す力・聞く力の向上	山崎真理 オフィス山崎 代表	A:40名 B:40名

I アンケート結果

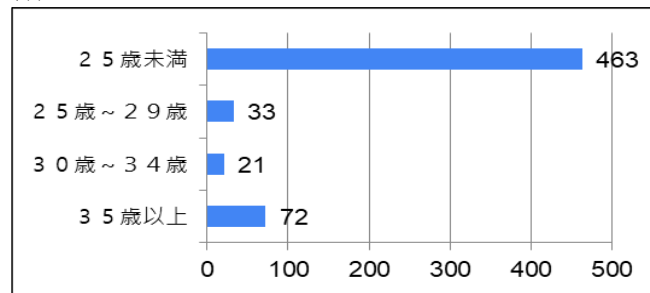
参加人数658名→ 回答数589名 回収率90%

※アンケートはGoogleフォームを使用したオンライン上の質問と回答をまとめたもの

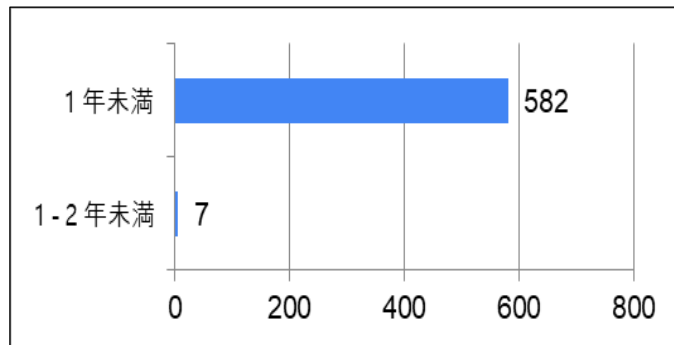
I-1. 職名



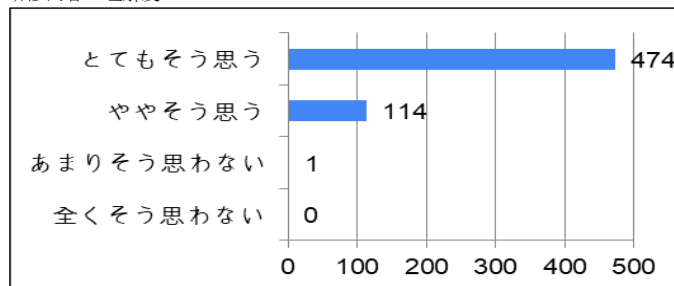
I-2. 年齢



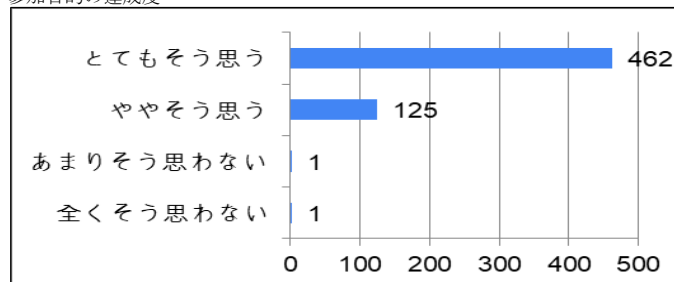
I-3. 経験年数



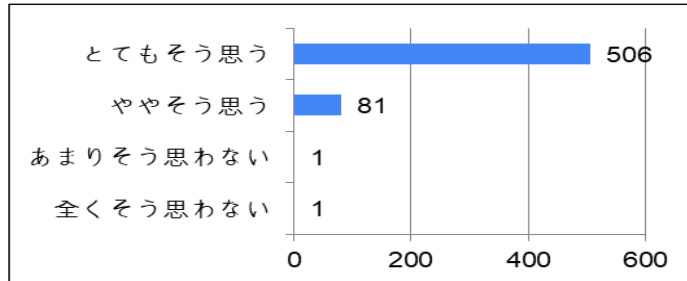
II-1. 研修内容の理解度



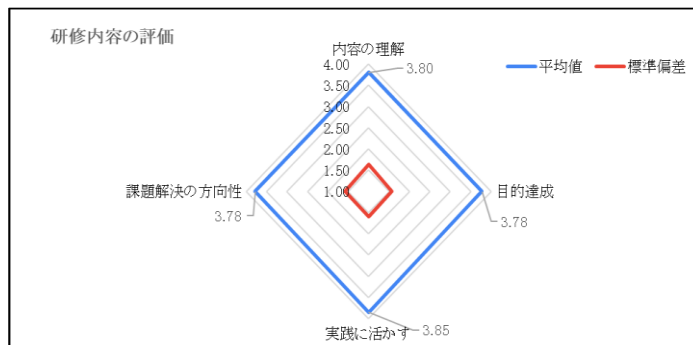
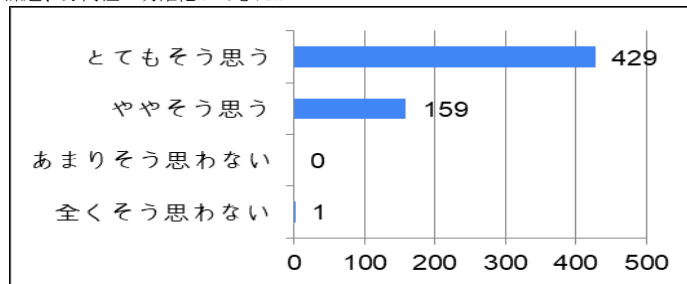
II-2. 参加目的の達成度



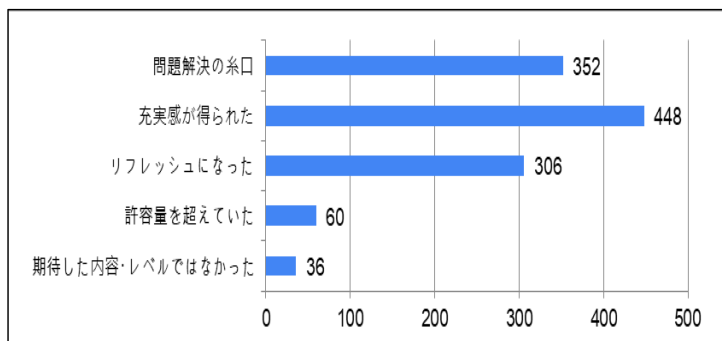
II-3. 今後の活動に活用できるか



II-4. 課題、方向性の明確化ができたか



III. 研修の講義全体を通じた感想



感想

各研修抜粋

<専門職>

- ・看護師としての基本的な心構えから、これから働く上での大切なポイントまで、様々なことを教えていただき勉強になった。
- ・現在の看護師や高知県全体の状態を知れた。看護協会の仕組みも理解できた。投票の大事さも学べた。
- ・看護協会について詳細に知ることができた。
- ・自分の考えを話すことはあまり経験がなく発表の際緊張したが、改めて今の自分を知る事が出来た。
- ・一年後の自分の目指すべき姿を考えるきっかけになった。わからないことは分からないままにせず先輩に確認する、看護技術をできるまで繰り返すなど 具体的な取り組みが明確になった。
- ・接遇がしっかりしている看護師になりたいと思った。
- ・新人で不安も有りますが、この研修の知識を意識して努力したいと考えた。

<医療安全>

- ・医療安全について自分に置き換えて具体的に考えることができた。
- ・実際に起こった医療事故から、新人が起こしやすいインシデントなど、どれも人ごとではなく、明日は我が身という思いがした。人間はエラーを起こす生き物だと前提して、事故を未然に防ぐために自分にできることを着実にしていきたい。
- ・とても勉強になった
- ・自分の小さい頃にあった医療事故などを知れ、なぜ起こったかや改善策なども理解できた。KYTも初めて行ったがいろんな視点からものごとを考える必要性がわかりよかった。
- ・手間を怠ることなく常に危機感を持って行動したいと思った。
- ・何事も自分事として捉え、安全に努めていきます。
- ・ミスしないように気をつけていても、ミスしたり間違ったりする事があるため、自分の行動を一度確認した上で行動していきたいと思った。
- ・事例や動画などを活用していた事から、ヒューマンエラーがなぜ起こるのかを理解した。また、どうすれば防ぐことができるのかという事がわかりやすかった。
- ・医療事故を起こさないために意識することが大事だと学んだ。
- ・今回の講義を受け、医療安全に対する新たな知識と意識をする事を再び考えた。

<感染管理>

- ・例題やグループワークを通して学びが深まった。患者さんや自分自身の身を守るために感染対策を確実に実施していきたい。
- ・例題と実践が多くあり、分かりやすかったです。
- ・病院で働く上で手指衛生は基本であるが、患者に触れず環境に触れただけでも アルコールでの消毒をすることが必要であり、菌を他の患者に運ばないことの大切さを感じた。また映像での疑問提起や事例から、グループ間のディスカッションを通し周りの意見と自分の意見の照らし合わせを行うことができたのでより理解を深められた。
- ・明日からの業務に活かしていく。
- ・手指消毒が基本であるという事を再確認し、どれくらい自分が消毒に不足があったかを確認した。
- ・感染対策について色々知ることができた。
- ・見やすいPPTで、根拠を用いて説明して下さったため、とても勉強になった。
- ・感染予防対策を実践できる看護師になりたい。
- ・感染予防は自分を守りつつ患者にも気をつけるべきことだと思った。
- ・明日から実践できそうな内容で充実していて、学びになった。
- ・基礎的かつ重要な内容でとても学びになった。

<注射・輸液>

- ・現場で良くする事を、演習で出来て現場に生かせるよう頑張りたい。
- ・モデルを使った注射を初めて試みて、実践に活かしたいと思った。
- ・輸液や輸液ポンプ、注射の手順などを実際に物品を使って演習することができより理解が深まった。また指導者の方と話をする中で、見えない血管に対してのアプローチや、穿刺のコツも教わり自分が実施する際はそれらを心がけていこうと思う。輸液ポンプは取り扱いを間違えると患者の命を落としかねない重大な事故に繋がるので、指差し声出し正しい知識を持って取り扱おうと思った。今日の研修で教えていただいたことを忘れずに臨床で活かしていきたいと思う。
- ・他病院の方との交流できてよかった
- ・ロールプレイをすることによって、自分も意識して注意しようとする項目が明確になり、何に対しても6Rの確認を怠らない心がけが強くなった。
- ・シナリオ⑤カテーテル抜去(カテーテルを抜去、廃棄)の際、カテーテルを感染性廃棄物の袋に入れるとあるが、病院では廃棄の際針廃棄ボックスに捨てます。なぜシナリオではその設定か理由が知りたい。
- ・サーフロ針には逆流防止弁がついているものについていない物があるが、ついていないもののメリットが知りたいです。
- ・今回実技だった事もあり、テルモの会社の方達や看護師さんが分かりやすく丁寧に優しく指導してくれ今までで1番学びになった研修だと実感した。

<フィジカル>

- ・現場で生かせそうな研修を開催していただき明日からの仕事に繋がる事ができると感じた。
- ・フィジカルアセスメントは苦手分野だったためとても勉強になった。
- ・とてもためになる研修だった。今後に活かし、正確なアセスメントができる看護師になりたい。
- ・患者さんの状態をアセスメントしていくのはとても難しかったが、周りの意見を聞いたり自己の知識を用いて解決の糸口を見つけられてよかった。また実際に人形を使って瞳孔の大きさや肺音の異常正常を聞き分けることができ、病棟でもこれらを実践し患者さんの異常にはやく気づくことができるようにして行こうと思った。
- ・講師の方の教え方が良くて、聞き取りやすかった。
- ・凄く楽しかった。
- ・毎日サービス残業を2~3時間して潰れかかっていたが、こういう機会があり何とか頑張れる。
- ・今まで医師への報告が苦手でなかなか上手く伝えられなくて自信がなかったが、今回の I-SBAR-C を用いての報告が自分の中でまとめやすく伝えやすいと実感した、これから活用していきたい。また小児科の患者の肺雑音の聴取が難しかったが、今回の肺雑音の聴取の体験を機に今後も勉強して理解を深めていきたいと感じた。
- ・午前午後共にとても分かりやすい講義で、沢山のことを吸収できたように思った。
- ・急変時の対応や、異変に気づくにはどこをどのように観察すべきかなどを知ることができた。呼吸音の聴取や副雑音が苦手であったが今回聴き方や副雑音の特徴について知ることができた。

<救急対応>

- ・血圧やSpo2などの変動に注意していたが、呼吸回数や脈拍などによりショックを早期に発見できるということを知って、とても勉強になった
- ・実際に救急の場面に遭遇した時に、物品の準備や観察項目が素早くできるように、普段から物品の位置を確認しておきたいと思った。
- ・緊急時の対応について、臨床で起こった際に実践できそうだと感じた。
- ・実際に一からシミュレーションをして行うことができ頭に入りやすかった。
- ・生理学的な知識に加えて実際に実習も出来て良かった。
- ・実際に行うことでいい経験になった。
- ・実際に今日学んだことを忘れずに頑張っていきたいと思った。
- ・救急が一番興味のある分野で楽しい研修でした。
- ・急変を捉える、意識ABCアプローチを早速明日から利用していきたいと思う。
- ・検温時、呼吸数をきちんと観察しようと思った。
- ・集中してできた。
- ・前回到続き急変前の前兆に気づくため、その前兆はどう言ったものがあるのか、バイタルサインの重要性について再度確認することができた。中でも呼吸の重要性や循環において血圧より脈拍の方を重点的に見た方がよいことなど初めて知り今後活かすことが出来ると感じた。その他、医療従事者が行う二次救命処置の内容について気管挿管の固定の仕方、長さなど丁寧に指導があり、いざという時に少しでも力になれるのではと思うことが出来た。

<社会人>

- ・約二日間の講義は非常に勉強になった。
- ・アンガーマネジメントについて理解することが出来た
- ・コミュニケーションについて講義を聞くことができ、明日からも実施していきたいと感じた
- ・前回と今回、2回に分けて受けた講義どちらも人として凄く勉強になる講義だった。
- ・人とのかかわりかたについて学びが深まった
- ・客観的事実の伝え方は難しいと感じました
- ・言い方が例題あるもので自身が言われると傷ついてしまうなと感じた。
- ・明日から実践していきたい。
- ・コミュニケーションについて学ぶ事が出来た。値引きしてしまってるので気をつけたい。
- ・私メッセージでがっかりした。やや虚しい気持ちになった。なかなか言えないです。
- ・今回の研修において、怒り方という難しい方法を知ることができて良かった。
- ・限定質問と拡大質問は普段から何気なく使っていたのですが、メリットをしっかりと理解できこれからも効果的に使っていきたいと思った。
- ・発表したり、当てられたりするのにはストレスでしたかありません。

研修担当者より

7研修・募集人数664人に対して、最終受講者は658名・達成率99%という結果となった。研修後半、体調不良を理由としたキャンセルが増加し募集人数を下回る原因となった。研修全体の評価として、受講生の学習成果の評価は概ね高く、学習目標の達成度は良好であったと思われる。しかし一方で、少人数ではあるが、各研修全てにおいて、「許容量を超えていた」「期待した内容ではなかった」と回答があった。この2項目について全体集計では96名となっている。研修中の私語などもあり、研修プログラムの見直しや、各施設の受講生の研修参加への動機づけも必要と考える。次年度は、新たな講師や研修内容について具体的見直しを実施する予定である。今年度は、研修最終日に、「実施してほしい研修はありますか」というアンケート項目を追加した。次年度の研修運営を検討する際、このアンケート結果も含めて検討する。